

1 - 1 北海道とその周辺の最近の地震活動 (1987年5月～11月) Recent Seismic Activity in and around Hokkaido (May-November, 1987)

北海道大学 理学部
Faculty of Science, Hokkaido University

この期間の浅発地震の震央分布を第1図に示す。この期間にはとくに大きな地震は発生していないが、いくつかの注目すべき地震活動があった。

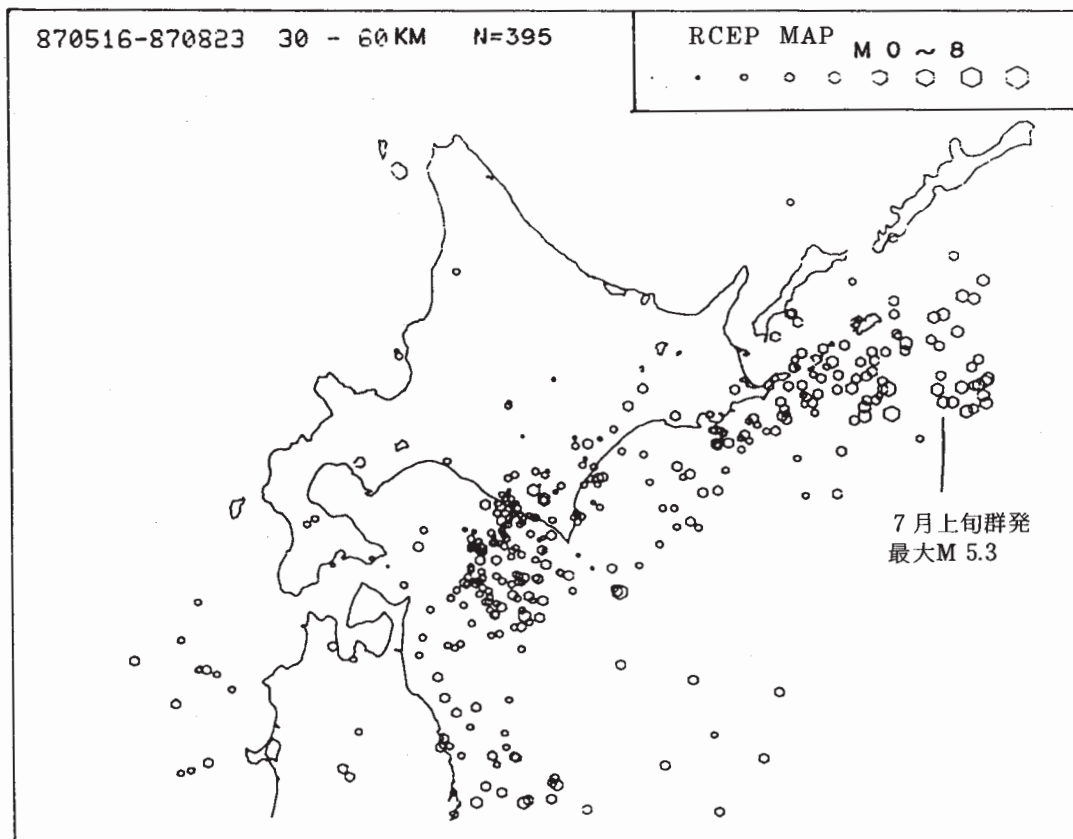
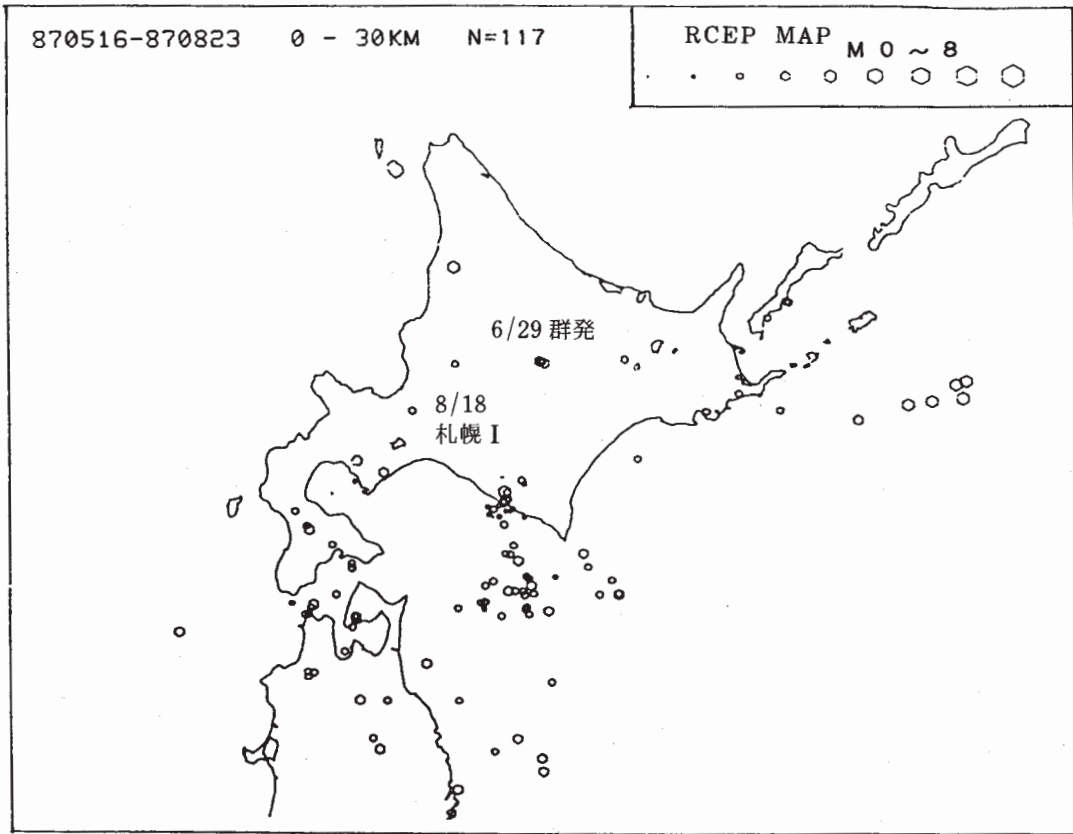
6月28日と29日に大雪山系でM3.0を最大地震とする微小群発地震が発生した(図2)。活動域の近くには活火山である十勝岳、旭岳があり、十勝岳で火山性微動が観測された後でもあって、火山活動との関連が注目されたが、とくに異常は報告されていない。

7月上旬にはM5.3を最大地震とする群発地震が根室半島東方沖に発生した。この地震に先行して広域的な地震活動の低下が認められている。¹⁾

9月17日にえりも岬はるか沖でM4.6を本震とする「本震-余震」型の地震活動があった(図3)。この活動域の北西側で10月中旬から11月にかけて別の地震活動があり、全体としては南東から北西方向へ線状に震源の移動が認められた。

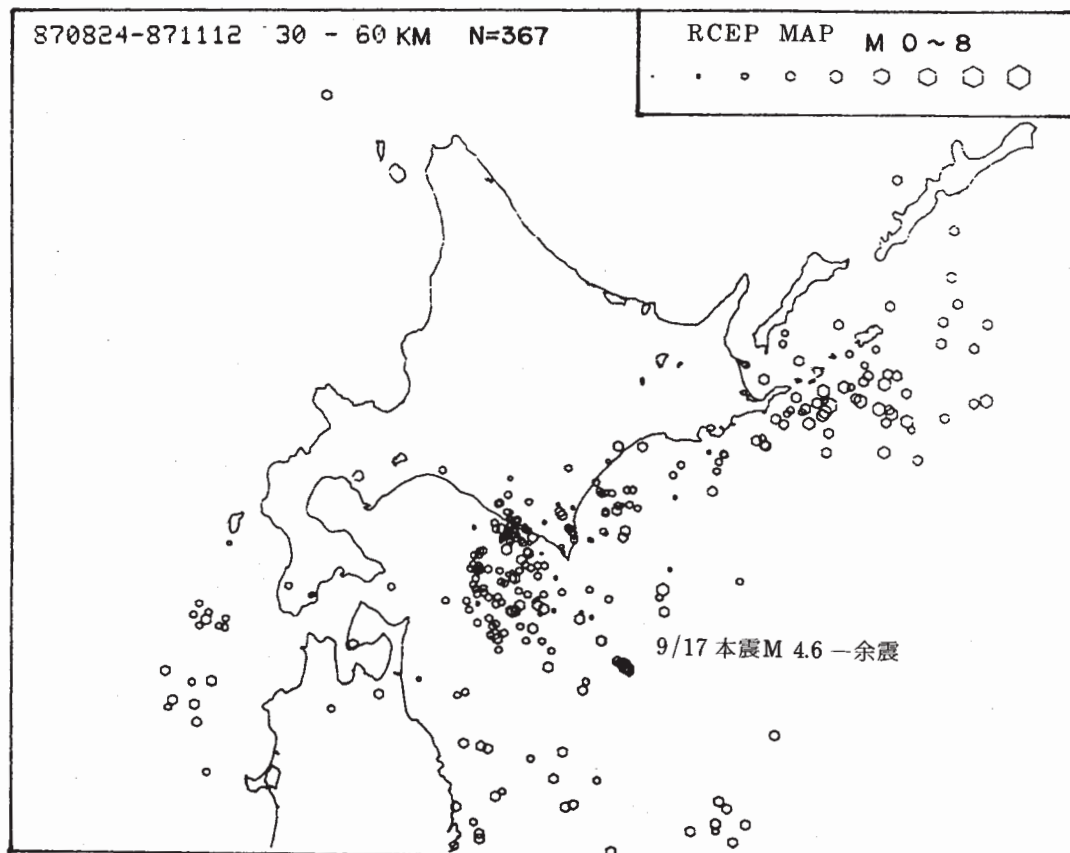
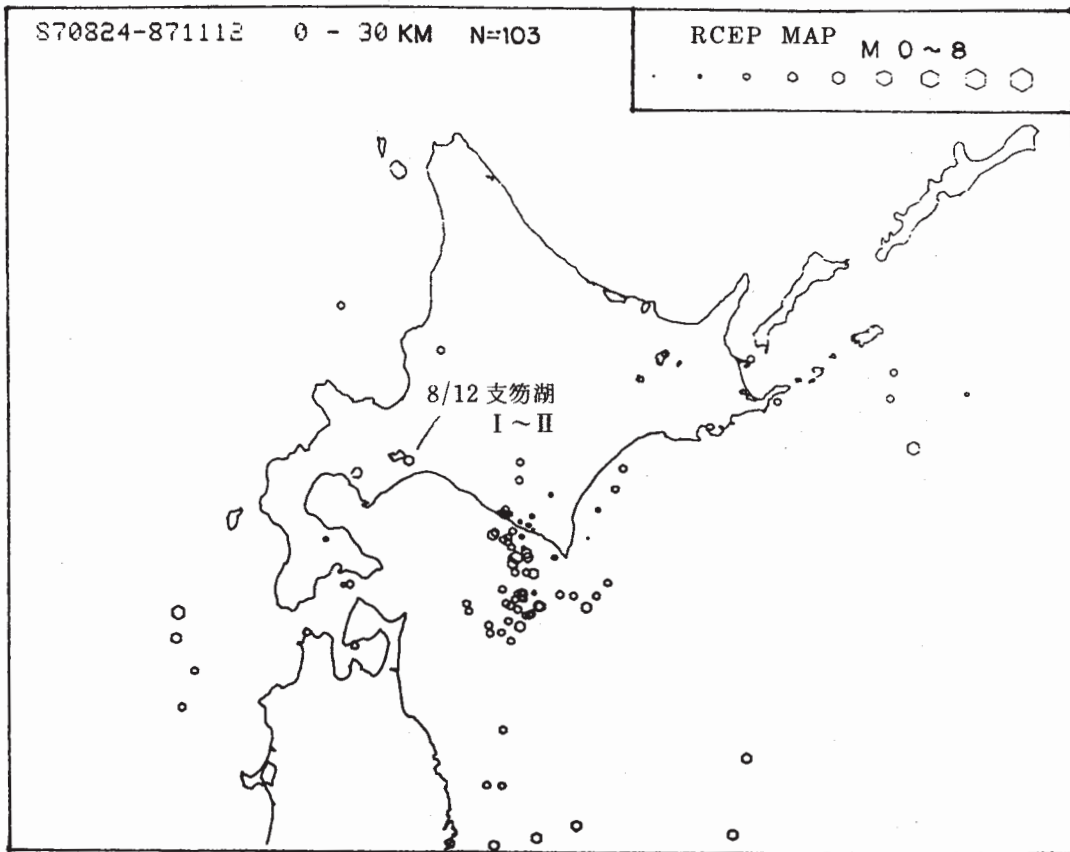
参 考 文 献

- 1) 本谷義信；北海道とその周辺の地震活動の常時監視，連絡会報，**39** (1988)，7 - 10.

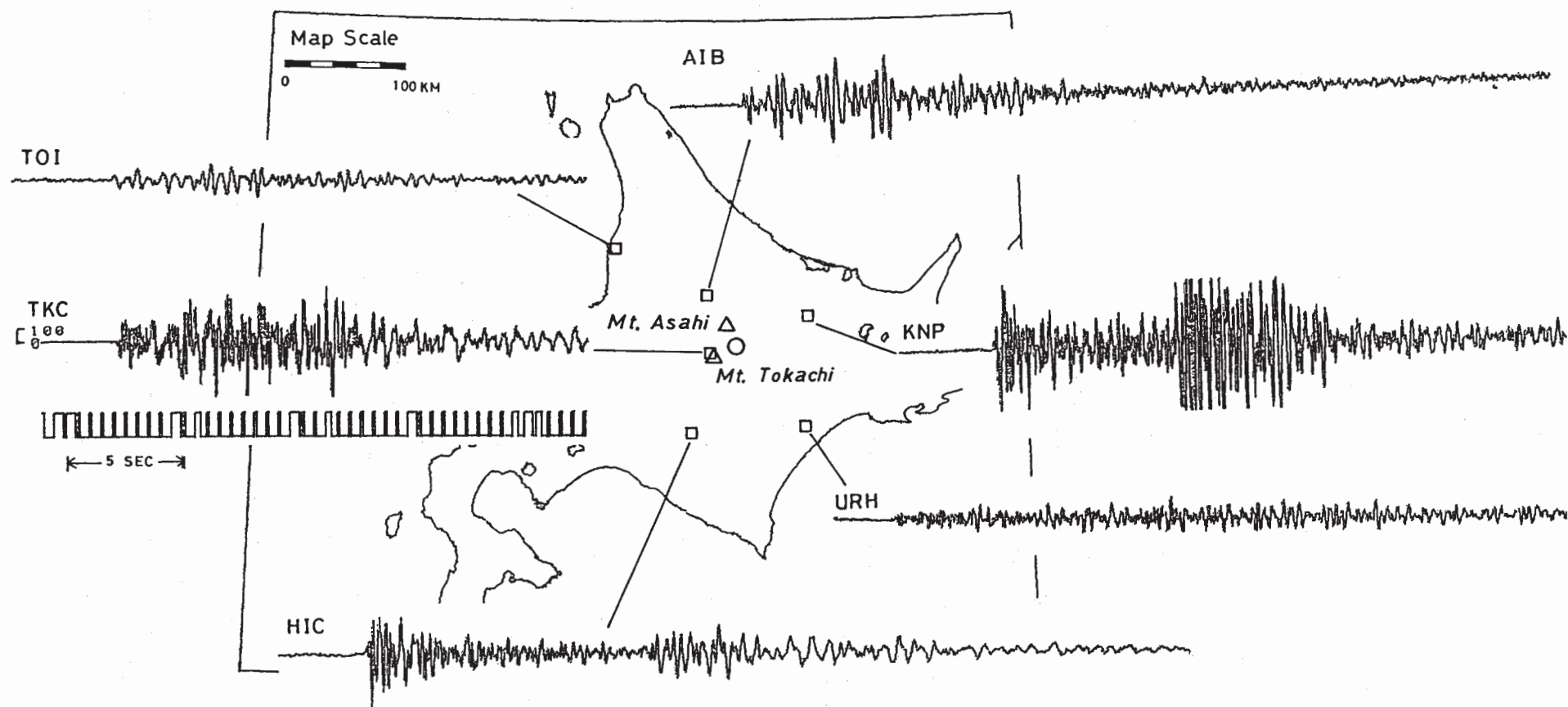


第1図 北海道とその周辺の浅発地震の震央分布

Fig. 1 Epicenter distributions of shallow earthquakes in and around Hokkaido.

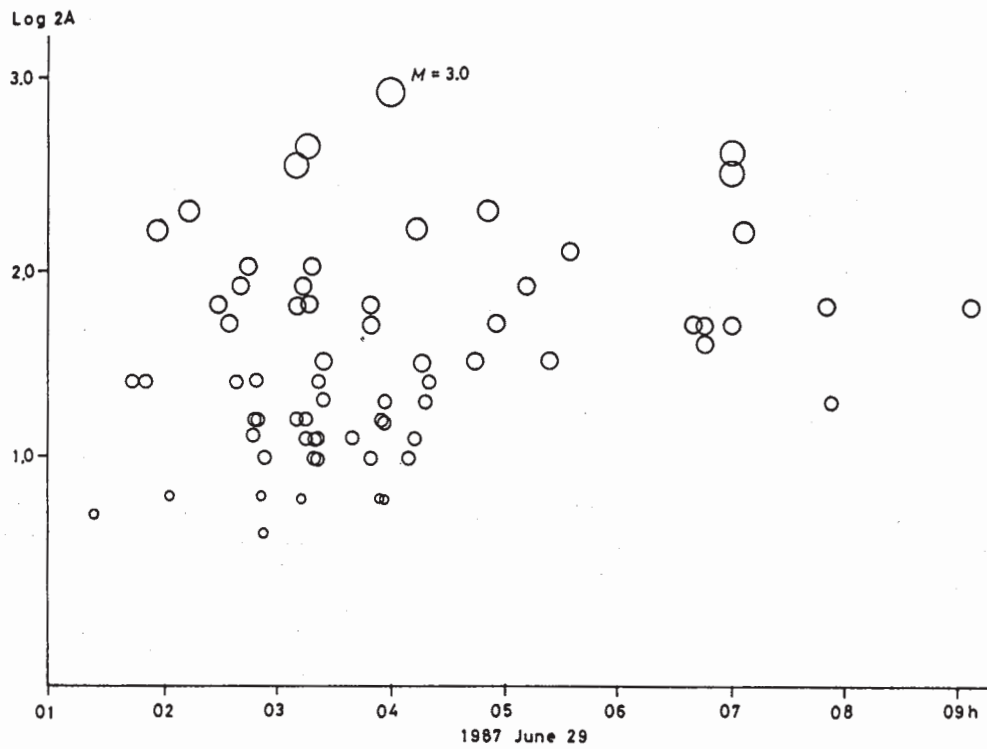
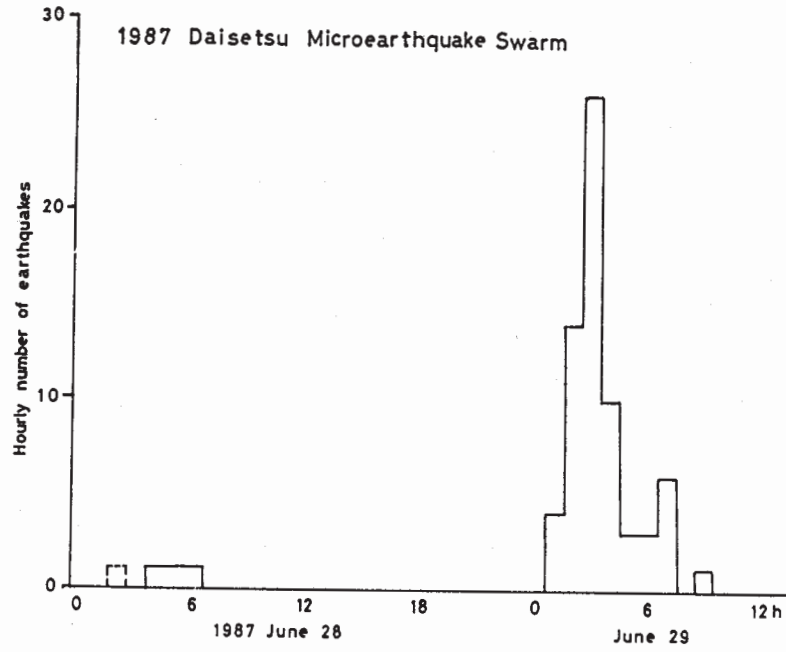


第1図 つづき
Fig. 1 (Continued)



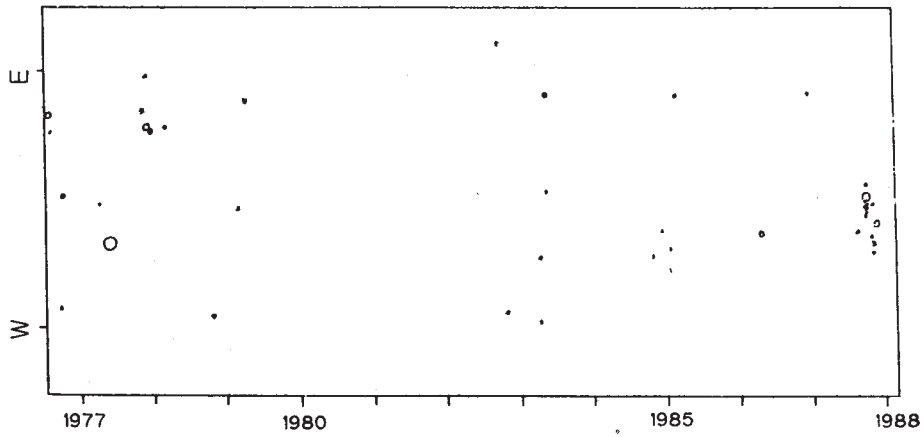
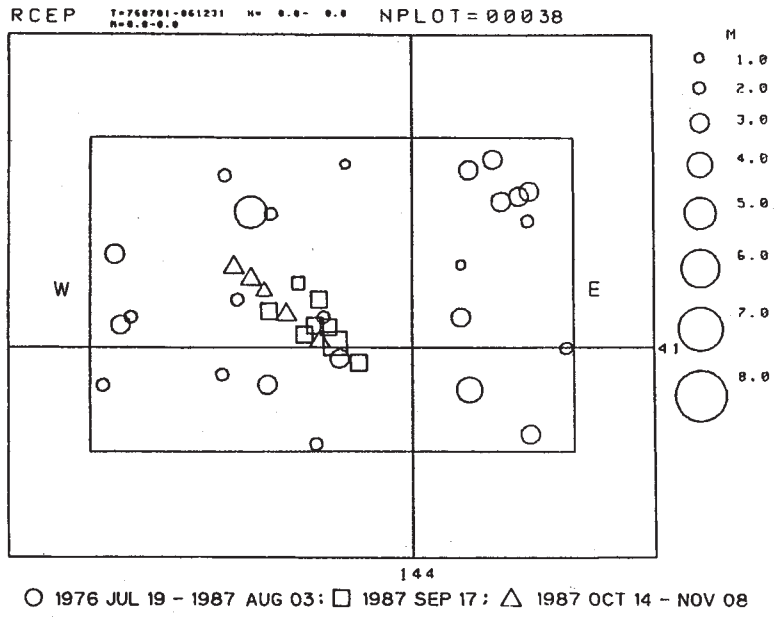
第2図A 1987年大雪山系群発地震の震源域(○)と地震波形の例。同一特性の1Hz上下動地震計によるもので、振幅、時間軸とも表示拡大率は同じである。

Fig. 2A Location of 1987 Daisetsu microearthquake swarm (circle) and waveforms of its main event. Seismograms can be directly compared with one another.



第2図B 大雪山系地震群の時間別地震回数（上）。最初の1個は近いけれども明らかに違った場所で発生した。地震の大きさ-時間のプロット（下）。地震の大きさは上下動記録複振幅の対数で表示してある。

Fig. 2B (Upper) Hourly number of events among the Daisetsu swarm. The first event occurred in a place near to but different from the hypocenters of the following events. (Lower) 'Magnitude' - Time plot. 'Magnitude' of the events is represented on logarithm of double amplitudes on vertical component seismograms.



第3図 1987年えりも岬はるか沖の群発地震とその周辺の地震の震央分布(上)と時系列(下)。たて軸は西から東へ測った距離。

Fig. 3 (Upper) Epicenter distribution of both of the events among the 1987 far off Erimo cape earthquake swarm and its surrounding area. (Lower) Time sequence of the events plotted in the upper figure. Ordinate shows a distance measured from the west to the east.